

平成 28 年 3 月 19 日

北関東フォーラム

於：シムックス

中斎塾 北関東フォーラム 平成 28 年度第 3 回

雑談から得る横の知識

先日、学生時代の友人と有楽町で待合せをしました。時間より少し早く着いたので、駅の靴磨き屋に並んで靴を磨いて貰いました。靴磨きの職人さんは最近凄く減っていると思っていましたら、新しい流れが出来ており、そこは整理番号を配りながらやっていました。

靴磨きの相場は 500 円くらいですが、東京駅に 1000 円をとる靴磨き屋があって、年季の入った職人さんが講釈をしながら靴を磨いてくれたのですが、ピカピカで新品のようになりました。倍の値段でも、充分納得のいく出来栄でした。

有楽町の靴磨き屋も 1,000 円でした。同じ値段でも出来栄は雲泥の差でした。年季を入れて人さまに講釈ができるような職人さんと、サラリーマン的に技術を身に付けただけの人では、職人としての技量が大幅違うのだとつくづく思いました。人間は気持ちの入れ方によって本当に変わると実感しました。

私の話はよく脱線します。その理由について、先週の東京フォーラムでお話したので、北関東フォーラムでも申します。

ものの考え方・判断基準には、縦軸と横軸があります。縦軸は哲学・歴史です。日本という国はいつ頃誕生したのか、日本の文化はどういうものか、日本の文明はどういう経緯を辿って発展し、現代に至っているのか…等々、日本人のあり方、日本という国の哲学の所以、日本という国の歴史を考えるのが縦軸です。

横軸とは、横に広がる知識です。例えば、新聞を読むと知識が入ります。ただ、最近の新聞は眉唾の情報が多いですから、ヒントが入っていると思って読んで下さい。自分で体験しなければ、新聞に書いてあることも役には立たないと思っています。

知識を沢山集めるのは良い事です。色々な知識がどんどん増えていくと、それが混ざり合って、ある日突然爆発します。ノーベル賞を貰った人達というのは、だいたいそういう課程を経て、知識が世のため人のためになる智慧に変わって、世紀の発見に至っているようだと考えています。

ですから縦軸と横軸について、意識して覚えて下さい。具体的な事例として、宮沢喜一

さんの話を致します。木内信胤先生は宮沢喜一さんについて、「あの子は通訳としては良かったけれど、総理大臣はしない方が良かったねえ・・・」と言われました。木内先生が終戦連絡部長時代、大蔵省の若手として加わったのが宮沢喜一さんでした。つまり、宮沢喜一さんは通訳としての知識（横軸）は十分にあるけれども、日本の国家観（縦軸）がないから駄目だと、木内先生は言われたのです。

その話を郷学研修所の安岡正泰理事長にお話したところ、お父様の安岡正篤先生も同じことを言っておられたそうです。「宮沢さんは横の学問はお出来になるけれど・・・」と、そこで止まってしまったそうです。

日本人としての魂・哲学がない人間は、総理大臣などやるものではない。情報・知識が沢山あっても世の中の役に立たないという点で、木内信胤先生も安岡正篤先生も考えが一致しておられたわけです。

縦の学問をした人間は、横の学問（知識）を沢山持つ必要があるわけですが、正しくない知識は入れる必要がありません。正しい知識をどんどん入れていくと、それが貯まって融合し、爆発をして世の中の役に立つものが生まれてきます。

私が講話の中でよく脱線をするのは、横の知識をお伝えしています。面白おかしく話していれば、何かは自然と皆様的心里に残るだろうと思ってお話しています。ですから話の中で気になったものは、是非調べてみるとよろしいでしょう。自分で調べると横の知識がどんどん増えます。ただ笑い飛ばしているだけでは、消えてしまいます。そういう種を沢山入れていますので、おやっと思った時に自分で調べるのが肝心だと思ってお聞き下さい。

歴史は繰り返す

一昨日、フォーラムの会員さんで社会保険労務士の方が開催した「マイナンバーセミナー」に参加しました。3名の講師が話をされましたが、結構面白い話でした。資料を戴きましたので、回覧致します。

マイナンバー制度は何のために作られたのか・・・。私は、国民から税金を搾り取れるだけ絞り取るために生まれた政策だと思っています。そして副産物としては、官僚の天下り先を確保するために進んでいると思っています。

そう考える理由は、歴史にあります。昭和21年2月17日に金融緊急措置令が出ました。ここに到る課程は、まず、国民の財産を明らかにして、税金を取れるだけ取らねばならぬという合意があった。次に、戦争の後始末が必要だった。戦争に負けて莫大な借金が残りましたから、これを何とか綺麗にしなければならなかったわけです。それらを実行す

るために金融緊急措置令を作ったわけです。

金融緊急措置令の中身は、一つは新円の切り換えです。今、使われているお金を無効にしました。二つ目は預金封鎖です。銀行でお金が下せなくなりました。銀行預金は凍結され、タンス預金も旧円を無効にしたから使えなくなりました。更に、財産の強制調査です。国民全員の財産を国に報告させました。私は国会図書館に行って、当時のマイクロフィルムを調べて確認をして来ました。

先程お話した木内信胤先生は当時、大蔵省の終戦連絡部長をしていて、金融緊急措置令を制定する時の会議メンバーの一人でした。他には愛知揆一、山際正道、池田勇人、福田赳夫、工藤昭四郎各氏がいました。その会議で、戦争の後始末をきちんと清算するためにはどうしたら良いか、知恵を絞った結果、財産税をかけて国民の税金で借金を返そうという事が決まったわけです。結果的に、25%から90%の財産税をかけました。

こういうことを日本の政府は過去にやっています。歴史は繰り返しますから、また同じことをするでしょう。そこにマイナンバーはオーバーラップしています。マイナンバーは国民から税金を搾り取るための、一つの布石だと思っています。

セミナーで、或る信用金庫の理事長をされた方から興味深い話を聞きました。3. 1 1の原発事故の際、たまたま風が海に向かって吹いていたので我々は助かったという話でした。メディアには出ませんが、その時、太平洋上にいたアメリカの船に乗っていた人達は今、放射能の影響で苦しんでいるそうです。もし、風が陸地に向かって吹いていたなら、おそらく関東一円は広範囲に汚染されて、我々は今こうしていられなかっただろうと言っておられました。

それを裏付ける話は、私も何度か申し上げています。私の知人は3. 1 1の原発事故の後、ドイツにいる友人から、「ドイツの新聞には日本の放射能の汚染状況が毎日更新されているけれど、あなたは今どこにいるの？」と連絡があったそうです。その時、日本の報道では津波の様子ばかりで、汚染状況などは全く出ていませんでした。その方は、友人が送ってくれたドイツの新聞を見て、真っ青になったそうです。

また木内孝顧問からは、原発事故のすぐ後には知り合いの外国人がほとんど帰国してしまっただけとお聞きしました。

更に、3. 1 1の総括をテーマにした或る会合で、南相馬市の市長さんの話を聞く機会がありました。市長さんは原発事故の数日後、読売新聞から取材を受ける予定になっていたけれども、突然キャンセルになった。その理由は、本社から放射能汚染の危険があるから現地に行かないようにという指示があったからだったと、後になって知ったそうです。

市長さん曰く、「3. 1 1の後、食糧も届かない、消防も警察もドクターヘリも来ない。我々は日本の国から見捨てられたと思った」そうです。

これらの話は全部雑知識です。雑知識を集めてみると、日本の新聞は本当の事を伝えないということが見えます。事実は一年くらい経つと、事実だけがあぶり出されて残っていきます。本物の人脈があれば、早く事実が入って来るといことです。ですから海外も含めて良い人脈を持つことが必要だということが、ここから見えて来ます。我々が今生きているのは、自然のほんのちょっとした気まぐれで生かされていることを実感する必要があるということを感じました。

もう一つ、信用金庫の元理事長さんにお聞きした話をご紹介します。在職中、先代の理事長から「カネは麻薬」「カネはエゴイズムの塊」だと教わったそうです。その方は、上場株式会社は日本のためにならないと言っておられました。大企業はアメリカの考え方で事業を進めているから、金儲けばかり考えている。金儲けばかり考えていては心が荒む。心が荒むと人間性が落ちるとい話をされていました。信用金庫の方が「カネは麻薬」とか「カネはエゴイズムの塊」などと言うのかと、面白くお聞きしました。

皆さんも、これらと思うセミナーがあれば是非参加して、話を聞きたいと思う方がいたら情報交換をされるとよろしいでしょう。横の知識が広がります。

事上磨練と知行合一

では、恒例の質問を致します。今年に入って今日までの間でお考え下さい。大分時間が経ちましたが、どうでしょうか。

○ 嘘をつかない日が比較的多かった方

手が挙げやすいように「比較的」とお聞きしています。良い日が続くための方法は、良い事と悪い事を天秤にかけるのではなく、一日のうちで何か良いなと思うことがあったら、夜寝る時にそれを思い出して、良い日だったと思って寝られるとよろしいでしょう。

○ 良い日が比較的続いていると思う方

手を挙げない人は、相手が悪いのではなく自分が悪いのです。そう思うと気が楽になります。お金を貸して、返して貰えない。普通、相手が悪いと思いますが、貸した方は返して欲しいと思わない方が良いのです。揉め事を起こしたなら、相手が悪いのではなく、自分にも何か原因があるはずです。私利私欲を放り出して、相手のせいにならずに、自分も悪かったと思えば終わります。

○ 有難う言い、有難うと言われることが多かった方

歳を重ねれば重ねるほど、有難うと言われることが少なくなりますので、意識して人さまに何かしてあげるとよろしいでしょう。有難うと言うのは当たり前、有難うと言われるには工夫が必要です。

○ 健康法を続けている方

昨日、私は69歳の誕生日を迎えました。この1年間は、79歳までを考えて70代の準備をします。そのうちの一つとして、自転車を始めました。以前お話した、若さを保つための「か（感動）・き（興味）・く（工夫）・け（健康）・こ（恋心）」を提唱された京都大学の大島清先生が67歳で定年を迎えた後、体力を維持するために、ヘルメットをかぶって競輪選手のような自転車に乗っている写真を見て、私も自転車に乗りたいと思い、準備をして昨日の誕生日に始めました。1時間くらい走って、足は何ともなかったのですが、転んで携帯を落としてしまいました。

79歳になったら、物はなくす・忘れる・覚えられない、これが当たり前だと思います。体力はつるべ落としで落ちます。これを防ぐためにどうすれば良いか、昨晚寝ながら思いました。そして、脳みそに「私はこれから寝るから、君が解決策を考えてね！」と言いついて寝ました。朝起きると解決策が浮かんでいましたので、メモしました。寝ている間に脳みそに考えて貰うという「脳みその活用方法」は、ベルリンでお会いした精神病理学のお医者さんも患者さんに薦めていると言っておられました。

健康法は、年齢に関係なく毎日毎日少しずつちよつと努力すると、確実に筋肉がつかます。私は朝起きて、ご飯を食べ、身体を動かさないと何かおかしいと感じます。そういうふうに頭の中にすり込みが出来ます。そのように健康法を続けると、年を重ねれば重ねるほど効果が出ます。年輩の方向けには、真向法がお勧めです。80代、90代の方でも真向法をやっておられる方が多いようです。

○ 昨晚寝る時に、明日以降を過去形でイメージ出来た方

これが自由自在にイメージ出来る方は、小金持ちから中金持ちになります。

○ 自分磨きをしている方

自分磨きは事上磨錬です。事上磨錬と知行合一をつないでお話を申します。陽明学には色々な良い言葉があります。「事上磨錬」とは、仕事の中で自分を磨く。匠の世界ですね。匠の世界は、もの凄い付加価値がついてくる世界だと思います。安さだけを求めるような、アメリカのグローバリズムはもう終わりです。お金がお金を生む時代も終わりました。

今、私は農業法人を立ち上げようと動いています。これからはお金が通用しなくなるから、給料の代わりに食べ物で渡す時代が来る。その時に、食べ物を確保して社員が飢え死にをしないようにする責任が企業、或いは組織には必ず生まれてきます。そのための準備

だと社員に言っています。東京オリンピックが終わった後は、確実に日本の経済が疲弊して、どうにもならない状況が当たり前のようになってくるはずですが、それまでに農業法人をきちんと作り上げておきたいと思っています。

そういうことを考えながら、日々の仕事で自分を磨いていく、他人を磨いていく、これが事上磨錬です。その時必要なものが「知行合一」（知るは行の始め、行は知の成れるがなり）です。人から聞いて喋るのではなく、自分で動いて自分で体験する。いくら農作物の作り方を本で読んでも分かりません。自分で耕し、種を蒔き、自分で育てて、収穫して食べてみる。自分が体験して始めて知っていると言えるわけです。行動するきっかけは、まず知りたいと思うこと。知りたいと思ったことを行動して、結果としてこうなった。ですから、知っているということは、一回完結したということです。事上磨錬は、知行合一と合体して更に強化されるのです。

論語解説

先程、素読をして戴きました。論語はお芝居をしているような調子で、登場人物になったつもりで読んでみるのも面白いでしょう。

【二三】子路 君に事えんことを問う。子曰く、欺くこと勿かれ。而して之を犯せと。

孔子はこの時五十代後半です。暴れん坊で一本気の子路が、衛の国の官僚になることが決まって、どうお仕えすればよいか真面目に聞いている。そんなやり取りをイメージして下さい。

子路が主君に仕える心構えを尋ねました。

孔子が言いました。「主君を騙してはいけない。主君が嫌な顔をしても敢えて諫言しなさい」

子路は相手かまわず言いたい事を言ってしまうタイプですから、大きなことを言って結果として騙すようなことにならないようにと、「欺くこと勿かれ」と先に言っています。そして、相手の心の中を量って言い方を考えなさいと諭しています。

現代に置き換えて、安倍総理と甘利大臣で考えてみます。「欺くこと勿かれ」の部分で、甘利さんは自分の脇を調べなかったのでしょうか。金銭問題に関して自分は大丈夫だと思っていたのでしょうか。安倍さんを騙したつもりはないのでしょうか、自分の脇が甘いままだったから、結果として安倍さんを騙すことになってしまいました。

「而して之を犯せ」の部分で考えると、安倍さんは消費税 10%の延期をやりたいわけで

す。そのための布石として、色々と学者を集めて喋らせています。

【二四】子曰く、君子は上達し、小人は下達す。

「上達」とは、上・中・下の「上」に達するという意味です。

孔子が言うには、君子は常日頃努力をして徳を磨くから上に達する。小人は、どんどん私欲を膨らましているから、最終的には下に達する。

私利私欲にまみれた小人は、最後は、閻魔さまの前に行かざるを得ないということです。これが、世の中溢れています。先ほどのお話のように、「金は麻薬」・「金はエゴイズムの塊」です。金が引き金で、世界は塗炭の苦しみを味わうことになります。金の使い方によって変わって来るとは思いますが、今はそういう方向に動いています。

【二五】子曰く、古の学者は己の為にし、今の学者は人の為にす。

孔子が言うには、昔の学者は自分自身を磨くため、自分の修養のために勉強した。最近の学者は人に知られるために勉強をしている。

孔子の頃も現代も変わりませんね。御用学者の多いこと多いこと。つい最近も、学歴詐称をしてテレビに出て来て話題になった人がいました。

【二六】蘧伯玉 人を孔子に使わず。孔子 之に坐を与えて問う。曰く、夫子 何をか為すと。対えて曰く、夫子は其の過ちを寡くせんと欲して、未だ能わずと。使者出づ。子曰く、使いなるかな。使いなるかなと。

孔子は 50 代半ばに、衛の国の大夫であった蘧伯玉の所に居候していました。その後、孔子は魯に帰っていたので、蘧伯玉が使者を出して孔子の安否を問わせたのです。

蘧伯玉が孔子のところに人を使わした。

孔子が使者に座を与えて、「蘧伯玉先生は今、どう過ごしておられますか」と尋ねた。

使者が「夫子は、過失を減らそうと心掛けておられますが、なかなか思うようには出来ません」と答えた。

使者が帰った後、孔子が「立派なお使者だねえ」と言って褒めた。

こういう使者を出せる蘧伯玉先生は素晴らしいと言っています。皆さんも取引先やお客様にお使いを出す場合、「使いなるかな。使いなるかな」と言われるような人物を選ぶとよろしいでしょう。ちなみに人が人を紹介する方法には、上・中・下があります。相手の所に一緒に連れて行って紹介するのが上。電話や手紙で連絡しておいて、本人だけ行かせるのが中。自分の名前を出していいよ…というのは下です。

木内信胤先生

今年木内信胤先生のことを色々な形で紹介しています。紹介する本は、『僕の自画像』（木内信胤著 善本社）です。

木内信胤先生のお父様は京都府知事をされた木内重四郎で、その義理の父は三菱の創始者である岩崎彌太郎です。奥様は福沢諭吉の娘です。叔父には総理大臣の加藤高明と幣原喜重郎がいます。木内信胤先生も吉田茂総理から大蔵大臣をやって欲しいと乞われたそうですが、奥様が政治は嫌いだからやめたのだそうです。政治家にならなくて良かったとも言っておられました。

木内先生が子供のころ、叔父の岩崎久弥の屋敷に泊まると、朝、叔父さんが目を真っ赤にしているのだそうです。日本一のお金持ちですから、泥棒が心配で、夜中に何度も起きて戸締りの確認をして歩くそうです。後に、先生は「僕は貧乏人ではないが、金持ちでもないよ。金持ちは嫌なものだからねえ…」と言っておられました。また、「生きて行くのにお金はあまり要らない。最低限必要なお金があればいい。私はお金も地位も名誉も求めようと思ったことは絶無に近い」と言っておられましたが、庶民とは尺度が違うように感じます。

その他、木内先生が言われた言葉を幾つかご紹介します。

○「私は日本人と英米人の違いを知った」・・・これは情報の理解の仕方で、英米人は理屈で理解するけれども、日本人は身体で感じる民族である。だから、まるで違うと言っておられます。

○「アメリカはこれから凄い勢いで転落をする。世紀が変わる頃には、誰もが分かる」・・・木内信胤先生が30年前に書かれた本の中で言い切っておられます。今、アメリカがその通りに落ちていることを誰もが知っている状況になりました。

○「私は25歳で父親を亡くした。25歳までは一所懸命勉強していた。それ以降の55年間、一生懸命働いたおかげで、半世紀という尺度が出来た」・・・世紀が実感として分かった。一世紀はその倍、1000年は10倍だから何となく分かるとも言われましたので、凄いこ

とだと思いました。世紀でものを見る目を、木内先生は養われたわけです。

その養い方というのは、先生は四紙か五紙の新聞を丹念に読んでおられました。そして必要な部分に赤ペンで線を引いていくのです。

お時間が参りました。本日お話致した昭和 21 年 2 月 17 日付の新聞を、是非ご自分で調べて下さい。今は、ネットでも簡単に検索できます。金融緊急措置法なるものはどういうものかを調べると、歴史は繰り返すですから、先程申し上げたことが自分なりの実感で分かります。自分で調べれば実感がわきます。人の話を聞いただけでは、忘れます。

以上で本日の講話を終了致します。